

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			D 建設・整備事業		
事務事業名		大阪河内長野線(北野田地区)			シート番号		
19-53		担当部署名			根兵		
建設		局		道路		部	
道路計画		課		評価責任者(課長名)			

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	利便性向上に向けた総合的な交通ネットワークの形成	有
	2	事業開始年度	— 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	都市計画法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	本路線は、市の東部地域を南北に貫き、大阪市及び大阪狭山市に接続する重要な幹線路線である。この路線が未整備であることから、並行する国道309号や府道大阪狭山線の慢性的な渋滞が発生している。また、地域の防災上の避難路として、安全・防災等に関する機能を果たすものであり、早期の整備が必要である。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	道路利用者・災害時における避難者・被災者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	本市東部地域の軸となる幹線道路の整備により、並行する国道309号や府道大阪狭山線をはじめとする主要道路の慢性的な渋滞を緩和し、交通環境の改善を図る。また、周辺地域の緊急車両の通行及び災害時の避難路として、救急、救援活動を支援する機能を高め、火災時の延焼遮断機能の強化を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	都市計画決定: 昭和45年8月17日 事業区間: 東区北野田ほか 路線延長: L=650m 道路幅員: W=35m 車線数: 4車線 平成30年度は、事業認可の取得に必要な認可図書の作成を実施			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 業務の受注者				

Ⅲ. 投入量

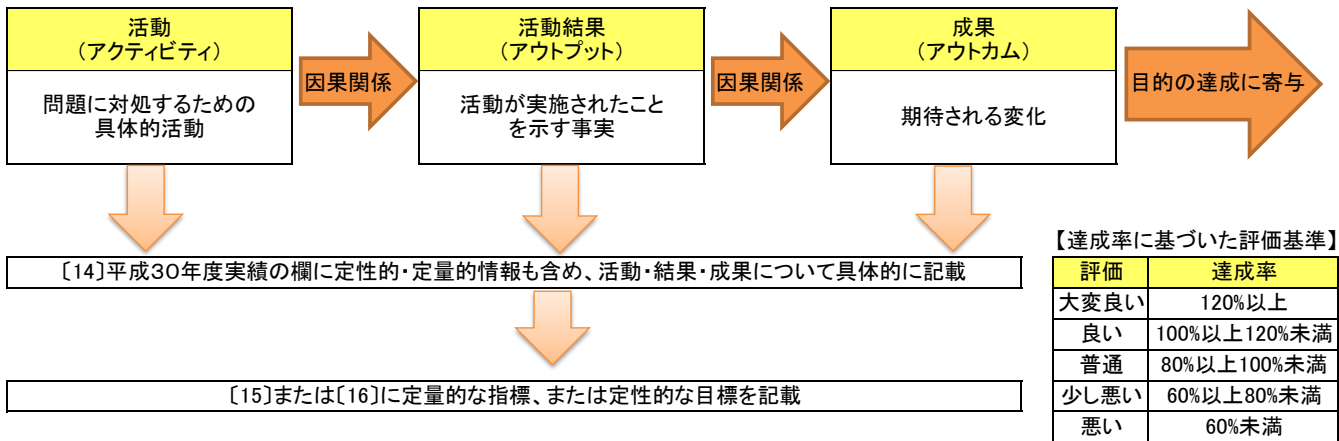
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	3,373	0	2,722	16,555	
	主な事業費内訳	工事費	千円				255
		用地費	千円				
		委託費他	千円	3,373		2,722	16,300
	財源内訳	国・府支出金	千円				8,100
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				7,200
		その他( )	千円				
	12 人件費 (b)	千円	4,680	5,206	4,946	4,676	
	13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	8,053	5,206	7,668	21,231	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

<b>事務事業名</b>	大阪河内長野線(北野田地区)	<b>シート番号</b>	19-53
--------------	----------------	--------------	-------

### ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	14	大阪河内長野線(北野田地区)事業について、平成30年度は事業認可の取得に必要な認可図書の作成を実施した。 [事業進捗] ・土地所有者、校区並びに関係管理者と協議調整を行い、事業認可の取得に必要な認可図書の作成を実施。					
	15	目標					
		事業化に向けた協議調整					
		目標に対する実績	関係管理等と協議調整を行い、事業認可の取得に必要な認可図書の作成				
16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		目標値					
		実績値					
		達成率					
		評価					
	算出方法・設定根拠など						

#### 業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析) ○早期事業化に向け、関係機関並びに地元調整を鋭意実施した。
----	---

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。